

少子化時代に対応した母子保健事業に関する研究

報 告 書

主任研究者 日 暮 眞

〈研究目的〉

出生率が低下するなかで、次代を担う子どもが心身ともに健やかに生まれ育つための環境づくりは、極めて重要な課題となっている。近年、核家族化や都市化の進行、女性の社会進出、受験競争の過熱化など、子どもと家庭をとりまく地域環境は大きく変化してきている。

一方、高齢化社会の進展のなかで、出生数の減少はわが国の社会・経済の活力を低下させるおそれがあるとともに、子どもたち自身にとっても、身体面・精神面あるいは社会性の面でその健やかな成長への影響が懸念される。そこで、子どもをとりまく環境における、このような著しい変化に対応すべく、母子環境対策整備の緊急性が求められている。

当研究班では、来る21世紀の母子保健事業に向けてのアプローチとして本研究を実施した。

〈研究方法〉

本研究は、以下の10研究課題に分担して取り組み、それぞれの研究内容としては付記する細目の課題につき研究者の協力を得て実施した。

分担研究課題－1 「母子保健事業の評価に関する研究」

(分担研究者：日暮 眞・東京大学医学部教授)

母子保健事業の市町村移行を前提とした乳幼児健診マニュアルの作成、健診の新しい評価法の開発、思春期体験学習事業の評価、乳児死亡率等の地域格差要因の検討、地域母子保健特別モデル事業の内容検討と今後の課題、障害児ケアの包括化システムの検討とそこにおける保健所の果し得る役割の検討、プレネイタルビゼイットのガイドライン作成、母子保健活動従事者のためのAIDS教育用ガイドブック作成のための検討等を行うことで、以下の10研究グループを組織し、調査・研究を行った。

- (1)保健指導のあり方に関する研究
- (2)市町村母子保健モデル事業に関する研究
- (3)地域における障害児の保健・医療・福祉の包括化に関する研究
- (4)父親の役割と保健指導に関する研究
- (5)思春期体験学習事業に関する研究

- (6)健康診査の新しい評価法に関する研究
- (7)健全母性育成のための保健指導のあり方に関する研究
- (8)出生前小児保健指導ガイドラインの作成に関する研究
- (9)補装具に関する研究
- (10)母子保健領域における健康教育に関する研究

分担研究課題－2 「母子の栄養摂取と運動に関する研究」

(分担研究者：山城雄一郎・順天堂大学医学部助教授)

離乳食・病院食の見直しのための基礎調査の検討を行うにあたり、3研究グループを組織し、調査・研究を行った。

- (1)現代にマッチした離乳食の指導案の作成
- (2)小児の病院食のあり方の検討
- (3)スポーツする乳幼児の食事見本の検討

分担研究課題－3 「特殊疾患児に対する保健指導に関する研究」

(分担研究者：三河春樹・関西電力病院院長)

アトピー性皮膚炎の発症に関わる生活要因、保健指導のあり方、ハンドブック作成に必要な資料等を検討する目的で、研究グループを組織し、研究を行った。

アトピー性皮膚炎生活指導ハンドブックの作成に、3つの段階を設定した。まず、専門医と保健指導の実地担当員、医学関係コラムニストら13名の上部委員会を置き、指導要項のあり方を検討した。次に、保健指導の実務者より、アトピー性皮膚炎患者の保健指導の現場で、当今混乱を招きやすい問題点を質問項目形式で提示頂いた。さらに、専門医、保健指導実務者の10名でハンドブック作成専門委員会を設置、上記の質問に対する答案を作成した。素案作成、意見調整、統一見解の抽出作業を経て、ほぼ現在の医学の平均的知識に立脚した指導要項を完成したのである。

分担研究課題－4 「保健婦の保健指導のあり方に関する研究」

(分担研究者：湯沢布矢子・国立公衆衛生院部長)

保健婦の対人サービスの問題点を検討し、そのサービスマニュアル作成検討を行う目的で、以下の4研究グループを組織し、研究した。

- (1)訪問指導に関する研究
- (2)保健婦の役割・接遇の基本と心がまえに関する研究
- (3)保健婦教育における母子保健指導内容に関する研究
- (4)保健所保健婦と市町村保健婦との連携に関する研究

分担研究課題－５ 「母子保健における助産婦のあり方に関する研究」

(分担研究者：小野寺伸夫・埼玉県立衛生短期大学学長)

病院助産婦と地域との連携に関する検討を目的に、以下の４研究グループを組織し、調査・研究を行った。

- (1) 病院等施設に働く助産婦の機能充実と地域への貢献策について
- (2) 開業助産婦の機能充実のためのモデルシステム構築
- (3) 助産婦の生涯システムの開発について
- (4) 新しい助産婦の役割について

分担研究課題－６ 「母子の歯科保健に関する研究」

(分担研究者：岡田昭五郎・東京医科歯科大学教授)

小児歯科疾患のハイリスク乳幼児スクリーニング等の検討を目的に、以下の３研究グループを組織し、調査・研究を行った。

- (1) 3才児以降の幼児の歯科保健対策の確立について
- (2) 保母・幼稚園教諭を対象とした歯科保健教育研修法の開発に関する検討
- (3) う蝕ハイリスク児のスクリーニング法の開発

分担研究課題－７ 「母子保健サービスにおける民間活動に関する研究」

(分担研究者：中村 敬・東京都母子保健サービスセンター参事)

母子保健活動に関わる民間活動、母子保健における情報の提供・活用等に関する実態調査とそのあり方に関する検討のため、以下の２研究グループを組織し、調査・研究を行った。

- (1) 母子保健における情報の整理と育児への応用
- (2) 母子保健サービスにおける民間活動

分担研究課題－８ 「海外在留邦人に対する母子保健情報の提供に関する研究」

(分担研究者：江井俊秀・母子衛生研究会理事)

海外在留邦人のために提供すべき母子保健情報の内容を検討した。

〈研究結果〉

重複を避けるために上述の各研究グループごとの報告の中で詳述するが、各分担研究における主たるものについて列記した。

すなわち、

- (1) 乳幼児健診が都道府県レベルより市町村に移管される際留意すべき事項
- (2) 地域母子保健特別モデル事業に関する調査結果
- (3) 障害児包括的ケアにおける保健所の役割、児童相談所・保育所との連携のあり方
- (4) 出生前小児保健指導に関するガイドライン作成
- (5) 改訂「栄養所要量」

である。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



研究方法

本研究は、以下の 10 研究課題に分担して取り組み、それぞれの研究内容としては付記する細目の課題につき研究者の協力を得て実施した。

分担研究課題－1「母子保健事業の評価に関する研究」

(分担研究者:日暮眞・東京大学医学部教授)

母子保健事業の市町村移行を前提とした乳幼児健診マニュアルの作成、健診の新しい評価法の開発、思春期体験学習事業の評価、乳児死亡率等の地域格差要因の検討、地域母子保健特別モデル事業の内容検討と今後の課題、障害児ケアの包括化システムの検討とそこにおける保健所の果し得る役割の検討、プレネイタルビゼットのガイドライン作成、母子保健活動従事者のための AIDS 教育用ガイドブック作成のための検討等を行うことで、以下の 10 研究グループを組織し、調査・研究を行った。

- (1)保健指導のあり方に関する研究
- (2)市町村母子保健モデル事業に関する研究
- (3)地域における障害児の保健・医療・福祉の包括化に関する研究
- (4)父親の役割と保健指導に関する研究
- (5)思春期体験学習事業に関する研究
- (6)健康診査の新しい評価法に関する研究
- (7)健全母性育成のための保健指導のあり方に関する研究
- (8)出生前小児保健指導ガイドラインの作成に関する研究
- (9)補装具に関する研究
- (10)母子保健領域における健康教育に関する研究

分担研究課題－2「母子の栄養摂取と運動に関する研究」

(分担研究者:山城雄一郎・順天堂大学医学部助教授)

離乳食・病院食の見直しのための基礎調査の検討を行うにあたり、3 研究グループを組織し、調査・研究を行った。

- (1)現代にマッチした離乳食の指導案の作成
- (2)小児の病院食のあり方の検討
- (3)スポーツする乳幼児の食事見本の検討

分担研究課題－3「特殊疾患児に対する保健指導に関する研究」

(分担研究者:三河春樹・関西電力病院院長)

アトピー性皮膚炎の発症に関わる生活要因、保健指導のあり方、ハンドブック作成に必要な資料等を検討する目的で、研究グループを組織し、研究を行った。

アトピー性皮膚炎生活指導ハンドブックの作成に、3 つの段階を設定した。まず、専門医

と保健指導の实地担当員、医学関係コラムニストら 13 名の上部委員会を置き、指導要項のあり方を検討した。次に、保健指導の実務者より、アトピー性皮膚炎患者の保健指導の現場で、当今混乱を招きやすい問題点を質問項目形式で提示頂いた。さらに、専門医、保健指導実務者の 10 名でハンドブック作成専門委員会を設置、上記の質問に対する答案を作成した。素案作成、意見調整、統一見解の抽出作業を経て、ほぼ現在の医学の平均的知識に立脚した指導要項を完成したのである。

分担研究課題－4「保健婦の保健指導のあり方に関する研究」

(分担研究者:湯沢布矢子・国立公衆衛生院部長)

保健婦の対人サービスの問題点を検討し、そのサービスマニュアル作成検討を行う目的で、以下の 4 研究グループを組織し、研究した。

- (1)訪問指導に関する研究
- (2)保健婦の役割・接遇の基本と心がまえに関する研究
- (3)保健婦教育における母子保健指導内容に関する研究
- (4)保健所保健婦と市町村保健婦との連携に関する研究

分担研究課題－5「母子保健における助産婦のあり方に関する研究」

(分担研究者:小野寺伸夫・埼玉県立衛生短期大学学長)

病院助産婦と地域との連携に関する検討を目的に、以下の 4 研究グループを組織し、調査・研究を行った。

- (1)病院等施設に働く助産婦の機能充実と地域への貢献策について
- (2)開業助産婦の機能充実のためのモデルシステム構築
- (3)助産婦の生涯システムの開発について
- (4)新しい助産婦の役割について

分担研究課題－6「母子の歯科保健に関する研究」

(分担研究者:岡田昭五郎・東京医科歯科大学教授)小児歯科疾患のハイリスク乳幼児スクリーニング等の検討を目的に、以下の 3 研究グループを組織し、調査・研究を行った。

- (1)3 才児以降の幼児の歯科保健対策の確立について
- (2)保母・幼稚園教諭を対象とした歯科保健教育研修法の開発に関する検討
- (3)う蝕ハイリスク児のスクリーニング法の開発

分担研究課題－7「母子保健サービスにおける民間活動に関する研究」

(分担研究者:中村敬・東京都母子保健サービスセンター参事)

母子保健活動に関わる民間活動、母子保健における情報の提供・活用等に関する実態調査とそのあり方に関する検討のため、以下の 2 研究グループを組織し、調査・研究を行った。

- (1)母子保健における情報の整理と育児への応用
- (2)母子保健サービスにおける民間活動

分担研究課題－8「海外在留邦人に対する母子保健情報の提供に関する研究」

(分担研究者:江井俊秀・母子衛生研究会理事)

海外在留邦人のために提供すべき母子保健情報の内容を検討した。